



北小の「顔」として 下級生をリードし 学校を支えてくれた 6 年生
その優しさが そのたくましさ が うれしかった
これからは 私たちがその伝統を引き継ぎます

6 年生を送る会



つなげよう北小の伝統・・・ ～6 年生を送る会～

2 月が終わり、いよいよ最終 3 月を迎えました。6 年生は卒業の準備に、そして、5 年生は北小のバトンを引き継ぐ準備に入っています。

先週 25 日は、6 年生を送る会が行われました。テーマはこちらです。➡



これまでお世話になった 6 年生に向けた感謝の会であると同時に、企画の中心となった新児童会役員のデビューでもあります。今年度も with コロナの中での送る会となりましたが、コロナ禍を踏まえた 3 密回避のアイデアがしっかりと仕組まれていました。そうです、**オンラインによる送る会**です。体育館にいる 6 年生と各教室にいる在校生とをオンラインでつなぎ、LIVE 形式で楽しみました。残念ながら、全校が

集まって楽しむことはできませんでしたが、思い出のアルバム（スライド）やプレゼント渡し（寄せ書き）、壁面掲示（メッセージ）など、趣向を凝らした取組が光りました。コロナ禍であっても、今できる最大限のことを一生懸命考え、実現に結びつけた新児童会役員に拍手を送ります。短い時間ではありましたが、誰もがほんわかとする心温まる時間を過ごすことができました。

6 年生を送る会が終わると、6 年生にとっては、いよいよ**卒業を現実のものとして意識**する時となります。**6 年間の成長の証、集大成**として、これまでの自分を振り返るとともに、残りわずかとなった小学校生活を大切にしてほしいと思います。

3 月 18 日は**小学校生活最後の授業**。6 年間の思いとともに、64 人のすべての力を注ぎ込んだ素晴らしい卒業式になることを願っています。在校生も先生たちも、精一杯バックアップします！！



～ 送る会の1コマ ～



「こんな性格、見方を変えると・・・」

人は、相手の欠点がよく見える生き物だそうです。「欠点」は、当然、その人のマイナスとなり、人はそれを直そうと努力します。時には、それが注意・忠告となり、ギクシャクした人間関係に発展してしまいうこともあります。しかし、見方・考え方を改めてみると、意外にもプラスの捉え方ができることも事実です。

本校の1階廊下に、青柳養護教諭が次のような掲示をしてくれました。私自身もハッとされられましたので皆さんにもご紹介します。

なるほど、マイナスと考えられる性格も、見方・考え方を換えればプラスに捉えられ

ます。「飽きっぽい＝好奇心旺盛」「おしゃべり＝社交的」「頑固＝意志が強い」「のんびりしている＝じっくり考えている」「おとなしい＝穏やか」など、確かに後者の方が、長所としての印象が強くなります。我々大人は、まず子どもたちの欠点を指摘してしまいがちですが、少しでもプラス（長所）として見てあげると、子どもたちの見える姿も、いつもと違う輝いたものになってきますね。

